

ことわざ/慣用句/四字熟語 200

1	A	ようい・しゅうとう 用意 <input type="text"/> 到	手抜きなく用意すること
2	A	のうあるたかはつめをかくす 能ある鷹は <input type="text"/> を隠す	実力のあるものは、それを表にひけらかさない
3	A	てだまにとる 手 <input type="text"/> にとる	自由自在にあやつる
4	A	いっきよ・りょうとく 一挙 <input type="text"/> 得	一つのことと同時に二つの利益を得ること
5	A	うしろがみをひかれる 後ろ <input type="text"/> を引かれる	心残りがして、振り切ることができない気持ち
6	A	ろんよりしょうこ <input type="text"/> より証拠	議論するより証拠を出す方が一番だ
7	A	にそく・さんもん 二束三 <input type="text"/>	ただ同然に値段が安いこと
8	A	あめふってじかたまる 雨降って <input type="text"/> 固まる	いざこざの後、かえて物事がおさまる
9	A	ろんごよみのろんごしらず 論語 <input type="text"/> みの論語知らず	知識はあっても実行が伴わないこと
10	A	くんし・ひょうへん 君子豹 <input type="text"/>	賢人はすぐ改める（転じて変わり身が早い）
11	A	ひょうざんのいっかく <input type="text"/> 山の一角	ごく一部分にすぎないこと
12	A	にっしん・げっほ 日進月 <input type="text"/>	絶えず進歩すること
13	A	こしがひくい <input type="text"/> が低い	人に対する態度が謙虚であること
14	A	いみ・しんちょう 意味 <input type="text"/> 長	深い内容を含んでいること
15	A	たていたにみず 立て <input type="text"/> に水	弁舌がすらすらとよどみないさま
16	A	ぜったい・ぜつめい 絶 <input type="text"/> 絶命	どうしようもないピンチ
17	A	たいげん・そうご 大言壮 <input type="text"/>	できそうもないことを言うこと
18	A	ぜんはいそげ <input type="text"/> は急げ	よいことは思いついたらすぐやっておくべきだ
19	A	ぬれてであわ 濡れ手で <input type="text"/>	苦勞をせずに利を得ること
20	A	うそもほうべん 嘘も <input type="text"/> 便	嘘もやむを得ない場合がある

ことわざ/慣用句/四字熟語 200

21	A	ひんこう・ほうせい 品行□正	行いがきちんとしていて正しいさま
22	A	むしがいい □がいい	身勝手に、利己的な態度をとること
23	A	とうかくをあらわす 頭□を現す	学識や才能が目立ってくること
24	A	きそう・てんがい 奇想□外	思いも寄らない奇抜なさま
25	A	しょうしん・しょうめい 正真正正□	うそいつわりのないこと
26	A	しゅび・いつかん 首□一貫	最後まで最初の方針を貫くこと
27	A	たつとりあとをにごさず 立つ□跡を濁さず	去る者は後始末をきちんとすべきである
28	A	ばんじきゆうす 万事□す	もうとるべき手段のない状態
29	A	なさけはひとのためならず 情けは□の為ならず	情けをかけておけば結局自分のためになる
30	A	たんとう・ちよくにゆう 単刀直□	いきなり本論に入ること
31	A	じんこうにかいしゃする 人□に膾炙する	広く人々に知られていること
32	A	ふえふけどおどらず □吹けど踊らず	いかに手を尽くしても人がそれに応じない
33	A	しり・めつれつ 支離滅□	脈絡がなく、でたらめなこと
34	A	けんえんのなか □猿の仲	仲が非常に悪いたとえ
35	A	ふくすいぼんにかえらず 覆□盆に返らず	してしまったことは、もう取り返しがつかない
36	A	きもにめいずる 肝に□ずる	深く心に刻んで忘れないこと
37	A	だそく 蛇□	無駄なものを付け加えかえって悪くなる
38	A	はいすいのじん 背□の陣	失敗したら後がないと必死で臨むこと
39	A	ぬかにくぎ 糠に□	効き目や手応えがないこと
40	A	ばきやくをあらわす □脚をあらわす	隠していた本性が表に出る